

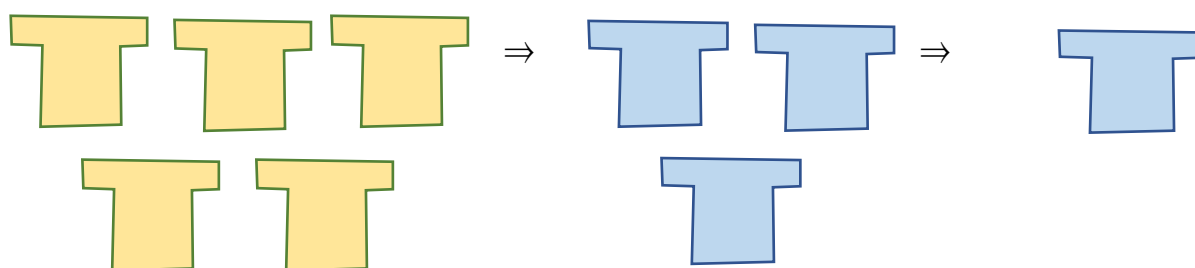
アップサイクルとは！ （アップサイクルで売上アップに貢献！？！）

ファッションに興味をお持ちの方は既に「エシカル」という言葉をご存じでしょう。最近では更に「アップサイクル」という言葉が使われるようになってきています。なんとなく「リサイクル」という言葉に似ていることにお気づきかと思いますが、意味が異なってきます。

廃棄されるものを再利用するという点でアップサイクルとリサイクルは同じですが、リサイクルは廃棄されるものの中から使えるものを取り出し原料や材料として再利用するので付加価値が高まることは少なく、金額も元のものよりも下がる場合が多いです。

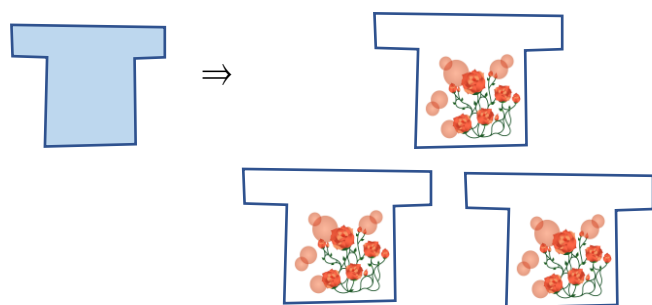
対してアップサイクルとは、更に付加価値を高めたり金額をアップさせる方法です。

例えばTシャツを作って売ります。 売れ残ったら それでも残ったら
1着3千円としましょう。 半額セール品にします。 廃棄



でしたが、売れ残りや廃棄品に素敵な絵をプリントするなどの加工をすることで

最初のシャツよりも付加価値をつけることで4,500円で売ることができるなんてことができるようになります。



着物を高級ドレスにする、などもアップサイクルと言えますね。

アップサイクルは、原料や材料に戻すのではなく、元の製品の素材をそのまま生かすのが特徴です。

一方で、例えば古着を雑巾にすることはリサイクルと言えますが、近いうちにゴミになる可能性が高く持続性の低い再利用なので、ダウンサイクル（製品のダウングレード）と言えます。

KE S活動にも、減らす！持続性の低いリサイクルをする！ではなく「増やす」「アップする」の考えを取入れた取組みをしていただけると嬉しいです。

注) アップサイクルはSDGsの12 つくる責任つかう責任に該当します